

No.	19-1-12	場所	飯田市松尾	次世代への継承キーワード
名称	蚕室まで浸かった民家			避難行動 / 地域コミュニティ
災害現象	家屋の被災			河川 天竜川本川
補足事項				支流

諏訪市
岡谷市
辰野町
箕輪町
南箕輪村
伊那市
高遠町
長谷村
宮田村
駒ヶ根市
飯島町
中川村
大鹿村
松川町
高森町
豊丘村
喬木村
上村
飯田市
南信濃村
清内路村
阿智村
浪合村
平谷村
下條村
阿南町
売木村
天龍村

概要

下流の狭さく部である鷲流峡の影響で水位が上昇し、浸水被害が発生。弁天橋下流 300m 地点では右岸堤防が 500m にわたって決壊、家屋流出 2戸、床上浸水 22 戸の浸水被害となる。地域内の 75.4 ヘクタールが大量の土砂流出により平均 1.5m の埋没被害となり、堆積土砂によって農地、農業施設は壊滅的な状況となる。

●体験談：災害当時、飯田市伊賀良小学校 6 年生
すみちゃほうのおじさんがはこばれてきた。だれかにきいたら、
「牛をこやからつれださと思ってだしていた時、こやの屋根がつぶれてしたじきになってしまった。そして、どろがぐうっとかおの所へはいつてきて、いきをとめていた。おじさんはくるしくなってきた。おじさんは足をゆすってみたらうごいたので、足をゆすればだれかが見つけてくれると思ってゆすっていた。そうしているうちにだれかがひっぱってくれたのでたすかった。」といていた。
「三回いきをしてしまったので、三回どろをのんでしまった。四回のめばしぬところだった。そしてしにそうなところをたすけてもらった。」といていた。もうかおはどろまるけだった。

(「濁流の子」p.14 より)

記録



蚕室まで浸かった民家
2 階建ての蚕室が屋根まで砂で埋まってしまった。左側は土蔵で、埋まった砂の上を水が流れている

出典 「天竜川のあの頃」p.186/「濁流の子」p.14

備考

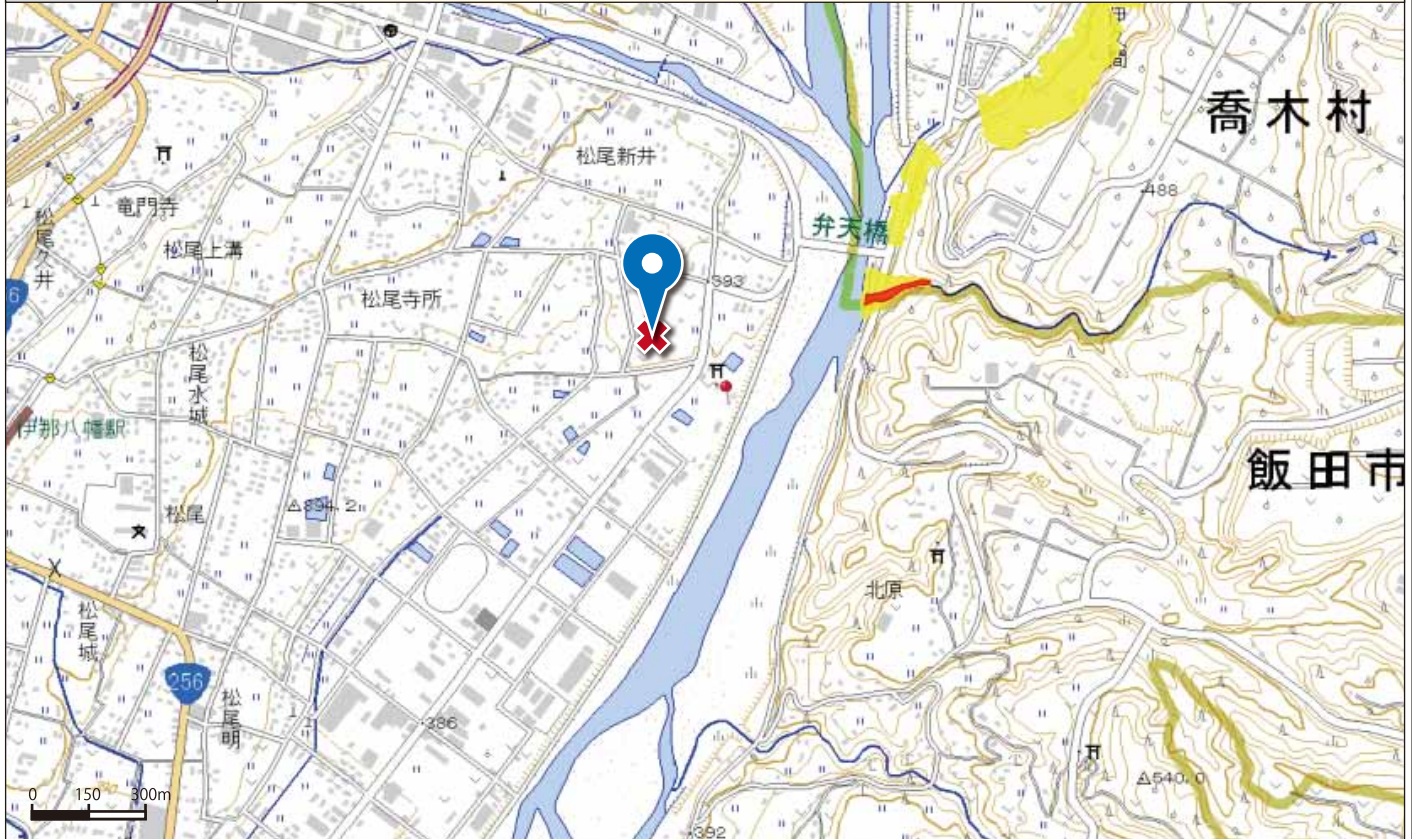
No.	19-1-12	場所	飯田市松尾	緯度	35.498633
-----	---------	----	-------	----	-----------

名称	蚕室まで浸かった民家	経度	137.857821
----	------------	----	------------

地図 広域図



地図 詳細図



備考 上記地図に表示されている、黄色の区域は「土砂災害警戒区域」（通称：イエローゾーン）といい、土砂災害のおそれがある区域を指します。また、赤色の区域は、「土砂災害特別警戒区域」（通用：レッドゾーン）といい、土砂災害警戒区域のうち、建築物に損壊が生じ、住民に著しい危害が生じるおそれがある区域を指します。